



建築作品部門

周辺環境に調和する建築

箕郷町の家

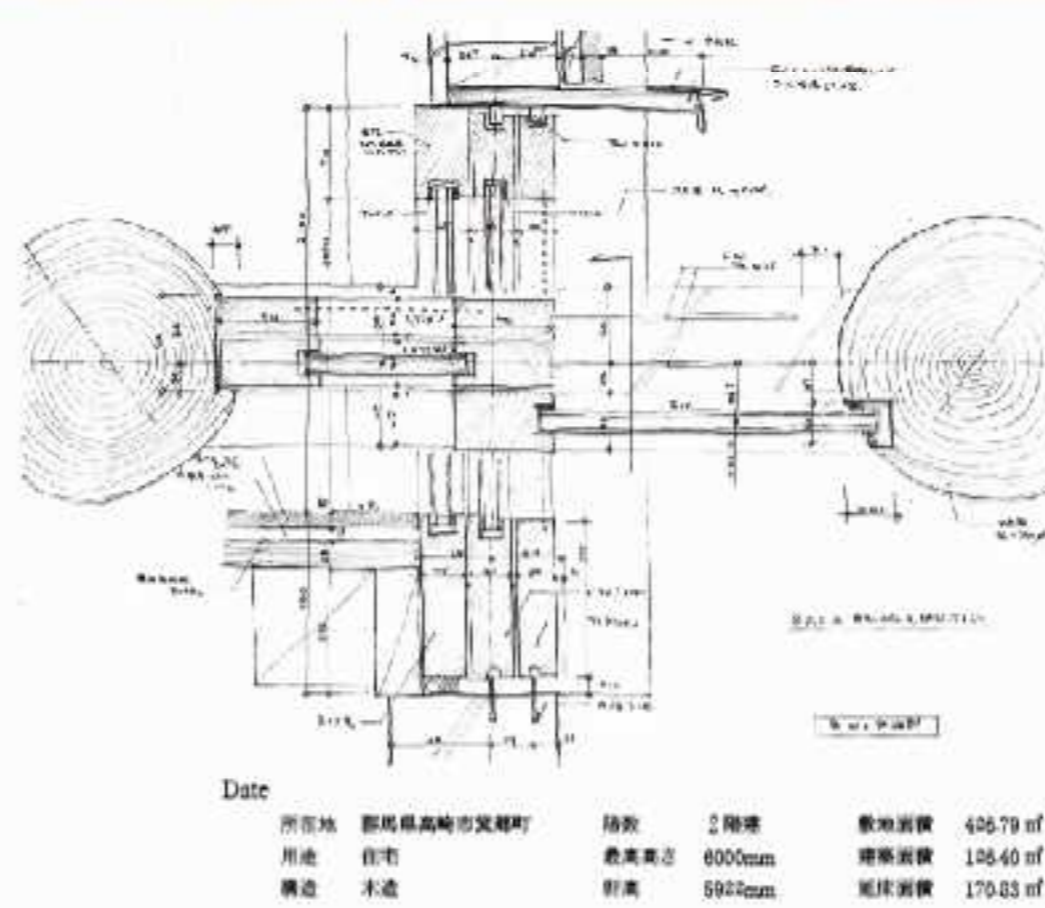
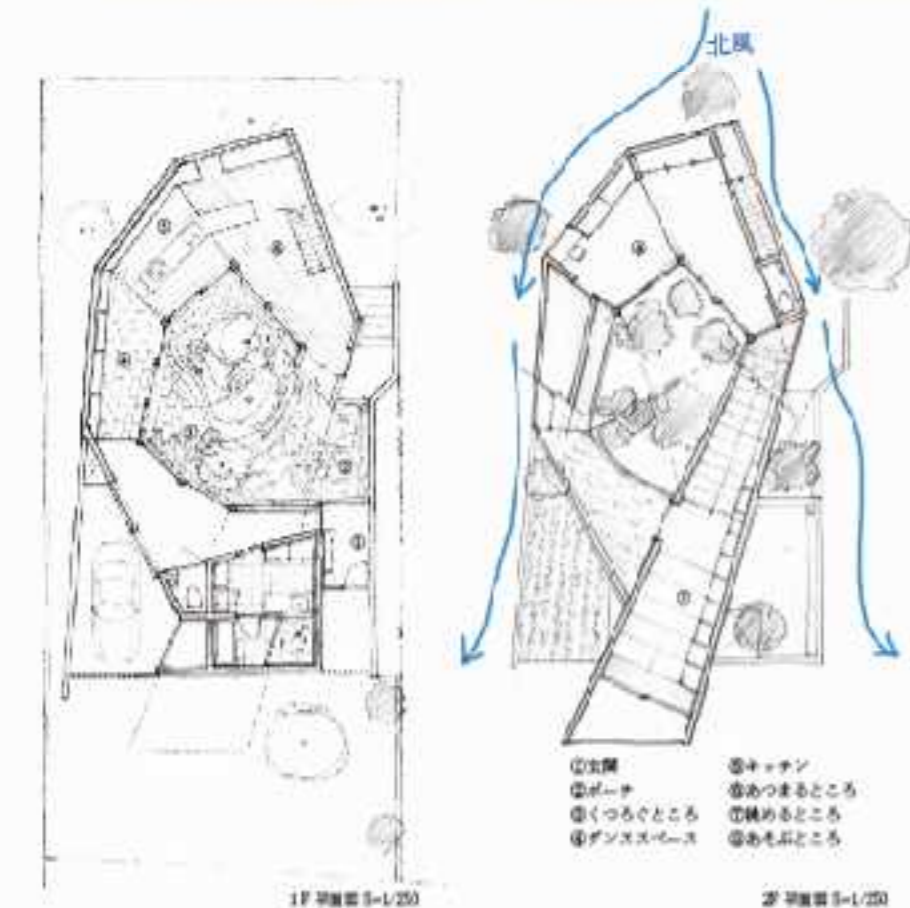
群馬県高崎市の街並み、湖・山々が望める高台。南北に長い、高低差 2m の敷地である。幅を変化させながら長さ 75m のワンルームが周辺と絡みながら螺旋する。北側を尖らせ、中央に中庭を囲う。

この地域は、冬 赤城山より北強風の“空々風”が吹き下ろす。尖った北外壁は、この風を吹き流し、風から守られた中庭を生み出す。

室内は、部屋幅の変化、敷地高低差による温度環境差、開口部の方向性による日射条件変化など、場所ごとによる“ムラ”のある環境により、室内に暖かい場所や涼しい場所、眺めの良いところや囲われた場所など多様な“場”が生まれる。家族は、それぞれ心地良い場所を探しながら過ごす。螺旋する空間は、その長さから家族の距離をつくり出すとともに、中庭がその距離をつなげ、程よい距離感を保ちつつも、常に家族の繋がりを感ぜられる「家」となる。

複雑な平面構成や不正形な丸太に対応するため、手描きスケッチを中心に設計を進めた。設計段階での職人さんとの事前調整に時間をかけ、つくることを意識してディテールを検討した。

構造に使用した 7 本の丸太は、施主家族揃って地元の山にて、直接切り出した。複雑な梁組により、柱仕口部に欠損が発生するが、大きな丸太は余白をもち、しっかりと受け止める。その丸太は、中庭の木々とも調和し、室内と室外をつなげる。丸太が、機能とデザインを合わせ持つ大切な役割を果たした。



伊藤 昭博 HIRO 建築工房

- 1972年 群馬県前橋市生まれ
- 2000年 HIRO 建築工房設立
- 2006年 おおた都市景観賞 大賞 (東金井町の緑の家)
- 2012年 ぐんまの家 最優秀賞 (IDEAL WALL)
- 2016年 第4回家づくり大賞 家づくりの関連部門 建物のかたちと構造部門賞 (箕郷町の家)

経験をデザインしたい。将来を見据えて計画することは、とても大切です。しかし、日々の何気ない出来事の積み重ねこそが、素敵な将来へとつながります。たくさんの経験ができる住まい。家族の思い出がたくさん生まれる、そんな建築を考えています。